

事業名	学力向上アクションプランの推進
主管課及び関係課(課長名)	初等中等教育局教育課程課(課長:大槻達也) (関係課)国際教育課(課長:奈良人司) 科学技術・学術政策局基盤政策課(課長:倉持隆雄)
上位施策目標	<p>施策目標 2 - 1 確かな学力の育成</p> <p>達成目標 2 - 1 - 1 学習指導要領の目標・内容に照らした児童生徒の学習状況の改善を図り、知識・技能はもとより、学ぶ意欲、思考力、判断力、表現力等まで含めた「確かな学力」を育成する。</p> <p>達成目標 2 - 1 - 2 少人数指導・習熟度別指導の実施など、個に応じた指導の充実を図る。</p> <p>達成目標 2 - 1 - 5 英語教育の改善の目標や方向性を明らかにし、その実現のために国として取り組むべき施策を盛り込んだ「英語が使える日本人」の育成のための行動計画を策定し、計画に基づいた施策を実施することにより、今後5カ年で「英語が使える日本人」を育成する体制を確立する。</p>
事業の概要	<p>学力の向上を企図した以下の施策を「学力向上アクションプラン」の一環として推進することにより、新しい学習指導要領のねらいを実現するとともに、公教育の質を格段に向上させる。</p> <p>【個に応じた指導の充実】 学力向上支援事業(新規) 退職教員や教員志望者等地域の人材を「学力向上支援員」として学校に導入し、教員との協力による個に応じたきめ細かな指導や、学習支援相談室における児童生徒への補充学習や学習方法、学習習慣などの支援・相談等にきめ細かく対応するための事業を実施する。 委嘱箇所数 47地域</p> <p>【個性・能力の伸長】 スーパーサイエンスハイスクール(拡充) 理科・数学教育を重点的に行う学校をスーパーサイエンスハイスクールとして指定し、高等学校及び中高一貫教育校における理科・数学に重点を置いたカリキュラムの開発、大学や研究機関等との効果的な連携方策についての研究を推進し、将来有為な科学技術系人材の育成に資する。 45校 70校へ拡充</p> <p>スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール(拡充) 英語教育を重点的に行う学校を「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール」として指定し、英語教育を重視したカリキュラムの開発、一部の教科を英語によって行う教育、大学や海外姉妹校との効果的な連携方策等についての実践的研究を行う。 50校 100校へ拡充</p>
予算額及び事業開始年度	平成16年度概算要求額5,630百万円(平成15年度予算3,943百万円) 学力向上支援事業(新規)、スーパーサイエンスハイスクール(平成14年度~)、スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール(平成14年度~)
必要性	<p>「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」(平成15年6月27日閣議決定)において、基礎・基本の十分な定着、習熟度別少人数指導、学習意欲の向上等、「確かな学力」の向上が求められている。</p> <p>これまでも「学力向上フロンティア事業」等の支援施策を講じてきているところであるが、国民の子どもたちの学力に対する不安を払拭し、「新しい時代を切りひらく心豊かでたくましい日本人」を育成するため、学校教育の質の一層の向上は喫緊の課題である。</p> <p>このような状況を踏まえ、新学習指導要領の実施3年目に当たっては、学力向上を企図した各種支援事業を着実に推進するとともに、本年5月に報告された教育課程実施状況調査の結果等を踏まえ、児童生徒に対するきめ細かな対応を一層進める観点から、「学力向上支援事業」を新たに実施するほか「スーパーサイエンスハイスクール」及び「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール」については大幅に拡充するなど、新教育課程のねらいを実現するとともに、公教育の質を着実に向上させる。なお、平成14年度実績評価においても、達成目標2-1-1の今後の課題として、「(各種国際比較調査や教育課程実施状況調査で)明らかになった指導上の改善点を</p>

	<p>踏まえ、個に応じた指導を一層充実させるとともに、学ぶ意欲、学習習慣等を児童生徒に身に付けさせることが重要であり、そのために、学力の質を向上させるなど、新学習指導要領の趣旨...の実現が必要である。」としているところであり、評価結果の15年度以降の政策への反映方針として、「学力向上アクションプラン」...関連施策を一層推進していくこと」としている。また、達成目標2-1-2の今後の課題として、「児童生徒一人一人の習熟の程度等に応じたきめ細かな指導を一層充実する観点から、今後、更なる指導方法や指導体制の工夫・改善を進める必要がある。」としているところである。</p>	
効率性	<p>国と地方（及び各学校）の適切な役割分担という観点からすれば、当該施策目標に係る国の役割は優れた取組を推進し、その成果の普及を図るとともに、国民の理解と支援を得ることであると考えられる。この点について、限られた予算の中で「確かな学力」をはぐくむため、随時個別学習相談体制をつくる学力向上支援事業、スーパーサイエンスハイスクールやスーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクールの拡充を行うことにより、より先進的な取組を推進し、その成果の周知・普及に努めることが効率的であると考えられる。</p> <p>平成15年度から実施している「放課後チューターの配置等に係る調査研究事業」において、教員志望の学生を学校教育において活用するための仕組みの構築等について調査研究を進めており、その一環として学習相談も行っているが、これを独立・充実させ、教員志望学生に加え、退職教員等地域の人材も活用しながら、授業だけでは理解が不十分という児童生徒などに、希望に応じて、教科内容や勉強方法についてきめ細かい相談・指導を行う事業を国が実施することで、各自治体による学習支援策の充実・活発化につながると考えられる。</p>	
有効性	達成効果の把握の仕方（検証の手順）	<p>全国かつ総合的な学力調査、国際数学・理科教育調査、OECD生徒の学習到達度調査（PIISA）等の国際的な調査、教育課程に関する意識調査等の結果により総合的に達成効果を把握する。</p>
	得ようとする効果の達成見込みの判断根拠（判断基準）	<p>学習指導要領の各教科等の目標の実現状況の向上、児童生徒の授業の理解度や満足度の向上、国際的な学力調査における我が国の児童生徒の学力水準の向上、各教科等が好きな子どもの割合の増加等が判断根拠となる。</p>
得ようとする効果及び達成年度	<p>学習指導要領の各教科等の目標の実現状況の向上（同一問題の経年比較における向上を含む）</p> <p>【全国かつ総合的な学力調査の結果により評価】</p> <p>児童生徒の授業の理解度や満足度の向上</p> <p>【全国かつ総合的な学力調査に含まれる質問紙調査の結果等により評価】</p> <p>国際的な学力調査における我が国の児童生徒の学力水準の向上（同一問題の経年比較における向上を含む）</p> <p>【国際数学・理科教育調査、OECD生徒の学習到達度調査（PIISA）等の国際的な調査等の結果により評価】</p> <p>各教科等が好きな子どもの割合の増加</p> <p>【全国かつ総合的な学力調査に含まれる質問紙調査、国際数学・理科教育調査、OECD生徒の学習到達度調査（PIISA）等の国際的な調査等の結果により評価】</p> <p>保護者の学校教育に関する満足度の向上</p> <p>【教育課程に関する意識調査の結果により評価】</p>	<p>達成年度</p> <p>実績評価票の達成目標2-1-1、2-1-2に達成年度として掲げられている平成17年度の時点で、それまでに実施された左記の調査の結果の分析等により、達成効果を評価し、所要の改善につなげる。</p>
備考	<p>（事業を実施する根拠）</p> <p>「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」（平成15年6月27日閣議決定）第2部 構造改革への具体的取組 4.雇用・人間力の強化（3）義務教育等義務教育改革</p> <p>「義務教育面では、時代や社会の要請に応え、基礎・基本の十分な定着を図るとともに、...習熟度別少人数指導等、地域の実情や子供の個性に応じた多様な教育・指導方法の工夫を進め、子供の学習意欲の向上も含め「確かな学力」の向上を目指す。」</p>	

# 学力向上アクションプランの推進

平成16年度要求額(案) 5,630百万円(3,943百万円)

～「確かな学力」を飛躍的に向上させるための総合的施策～

## 個に応じた指導の充実

～習熟度別指導などのきめ細かな指導を実現～

小・中学校教育課程実施状況調査の結果を踏まえた  
きめ細かな学習支援事業の実施

(新規事業)

学力向上支援事業(個別指導体制の整備・  
外部人材の活用) 47地域

(継続事業)

学力向上フロンティア事業  
学力向上フロンティアハイスクール事業  
学習指導カウンセラー派遣事業  
新しい評価の普及・定着 など

## 個性・能力の伸長

～特定分野において卓越した人材を育成～

(拡充事業)

スーパーサイエンスハイスクール

(45校 70校)

スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール

(50校 100校)

## 確かな学力の向上

揺るぎない基礎・基本  
思考力、表現力、問題解決能力  
生涯にわたって学び続ける意欲  
得意分野の伸長  
旺盛な知的好奇心、探究心

## 英語力・国語力の増進

～英語によるコミュニケーション能力の飛躍的向上  
とその基盤となる国語力の増進～

「英語が使える日本人」の育成のための行動計画

・スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール  
(拡充事業)(再掲)

・英語教員の資質向上のための研修(継続事業)

・高校生の留学促進(継続事業)

(継続事業)

国語力向上推進事業

## 学力の質の向上

～学ぶことの楽しさを体験させ、学習意欲を高めると  
ともに、学びの質を向上させる～

(継続事業)

「総合的な学習の時間」推進事業  
学習意欲向上のための総合的戦略  
理科大好きスクール

～全国かつ総合的な学力調査等の実施～

施策の成果を把握するための調査を充実  
施策の推進・改善にフィードバック

(新規事業)

特定の課題に関する調査の実施